

平成30年度 小牧市民健康づくり事業実績

1 成人保健

(1) 協会けんぽ特定健診と小牧市がん検診を協働開催 新規

協会けんぽの特定健診の受診者数及び小牧市のがん検診の受診者数を増加させるため協働開催をし、受診率の向上を図った。

ア 事業概要

- ・ 実施日 平成30年12月4日（火）
- ・ 会場 保健センター
- ・ 検診の種類 協会けんぽ集団特定健診と市集団胃がん検診・大腸がん検診を同時開催（4,369通協会けんぽより勧奨通知）

イ 各種受診者数

協会けんぽの特定健診 受診者数	内) 市胃がん検診 受診者数	内) 市大腸がん検診 受診者数
70人	63人	67人

2 母子保健

(1) 乳幼児健診事業 継続

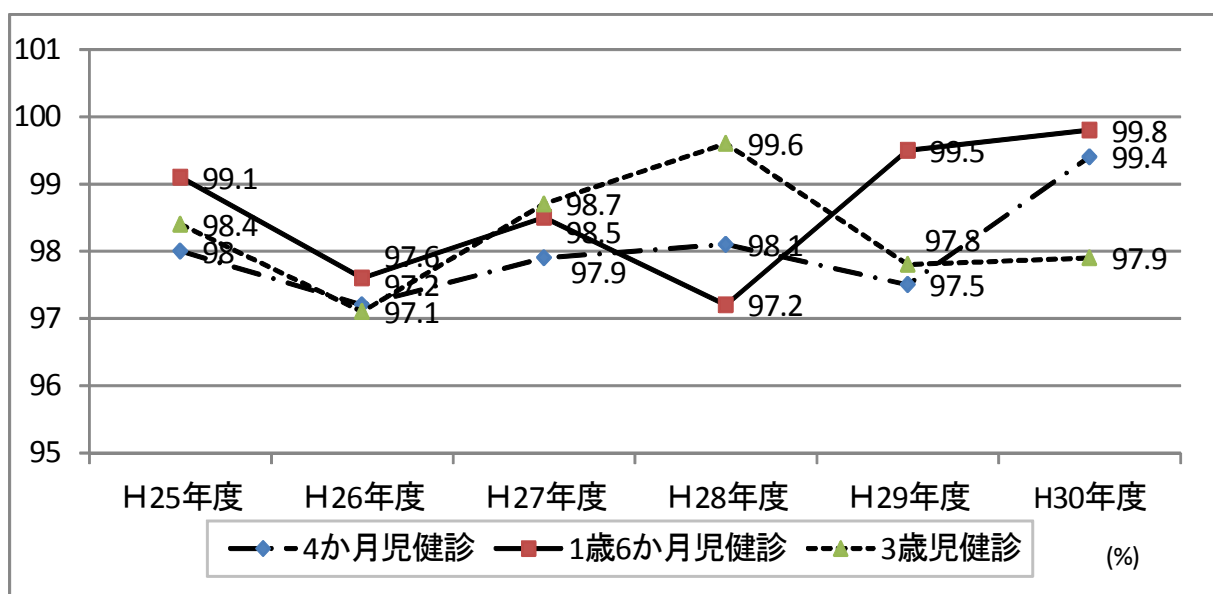
ア 目的

乳幼児の発育・発達を確認し、疾病等を早期発見し適切な治療や支援に結びつける。また、保護者の育児の心配や疑問等に対して相談等の育児支援を行う。

イ 乳幼児健診受診率（％）

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
4か月児健診 (年48回)	98.0	97.2	97.9	98.1	97.5	99.4
1歳6か月児健診 (年36回)	99.1	97.6	98.5	97.2	99.5	99.8
3歳児健診 (年36回)	98.4	97.1	98.7	99.6	97.8	97.9

年次推移グラフ



ウ 未受診児支援

近年、乳幼児健診未受診児への支援が虐待の予防・早期発見にも有効と言われ、その重要性が言われている。小牧市でも平成24年10月より未受診児の支援体制を見直し、各乳幼児健診において積極的な受診勧奨に努め、未受診者の状況把握に努めてきた。

エ 平成30年度乳幼児健診対象者のうち状況未把握者数：0人
(令和元年7月1日現在)

(2) 不妊不育治療等助成事業

継続

ア 目的及び効果

不妊症及び不育症に悩む夫婦に対し、不妊治療及び不育治療に要する費用の一部を助成し、その経済的な負担の軽減を図り、安心して治療できる環境を整える。

※不育症とは、妊娠してもその後流産や死産等を繰り返し、出産に至らない状態をいう。

イ 事業概要

・不妊治療等補助金

不妊症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、医療費

(保険適用、保険適用外)を助成する。

【補助額】年度につき上限5万円、補助期間24ヶ月)

・不育症治療等補助金

不育症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、保険適用外の医療費を助成する。

【補助額】1治療期間につき上限15万円、通算5回

ウ 実績

- ・不妊治療等補助金(110組に助成、うち27組妊娠成立)
- ・不育症治療等補助金(1組に助成、出産に至らず)

(3)性に関する問題遭遇時の支援体制について

継続

ア 支援体制に関する内容

・安心相談カードの配布時期

安心相談カードは、思春期の子どもたちが悩んだ時に、信頼できる相談先を紹介し、必要時に相談ができるように相談方法や電話番号等が記載されているカードで、市内の中学校・高校1年生全員に配布している。

平成30年度までは、夏休み前に配布をしたが、夏休み前は、学校の配布物が多く、カードの説明に時間が取れないこともあるため、4月末に配布できるよう学校と調整した。4月末に配布することの利点として、入学し、緊張疲れが出てくる5月頃にカードの情報が あることで役に立つと意見があり、平成31年度から4月末に配布をしている。

・思春期によくある質問Q&A(小牧市ホームページ)の見直し

ホームページに、女の子の質問、男の子の質問、男女共通の質問というカテゴリで掲載している。近年、性的少数者の配慮が言われていることから、内容等について母子保健推進協議会で協議をし、厚生労働省に掲載されている思春期によくある悩みに関する記事にリンクを貼り掲載することとした。

3 予防接種

(1) 予防接種スケジュールアプリの導入 新規

平成30年9月1日から子どもの予防接種のスケジュール管理ができるアプリ「すくすくこまキッズ」を導入し、保護者の負担の軽減を図った。

ア 事業概要

小牧市子育て応援アプリ「すくすくこまキッズ」は、接種する種類が多く、種類により接種間隔、接種回数、接種年齢が異なる子どもの予防接種に対応するものです。子どもの生年月日から、接種間隔や順番などのスケジュールを自動で調整し、予定を変更してもそれ以降の予定を全て自動調整するため、接種間違いを防ぐことができます。また、健診の案内や市からの案内・情報なども受け取ることができる子育て応援アプリである。

イ 利用状況（参考：年間出生数は約1,200人）

	登録者数	登録世帯数
10 / 1 現在（1か月後）	432人	314世帯
12 / 1 現在（3か月後）	690人	500世帯
4 / 1 現在（7か月後）	1,051人	759世帯

ウ 周知方法

市ホームページに掲載するとともに、親子健康手帳交付時、赤ちゃん訪問時及び各種乳幼児健診時にチラシの配布による案内をした。

4 歯科保健事業

(1) 妊婦個別歯科健康診査

継続

ア 目的及び効果

妊娠中は、歯牙・歯周疾患が進行しやすいため、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を目的に、これまでの集団健診に加え、妊婦の歯科健康診査を身近な歯科医院で個別に受診する環境を整え、早期発見・早期治療を図り、安心・安全な出産につなげることを目的とする。

イ 事業概要

妊娠中に指定医療機関において、無料で歯周疾患健診をはじめとした歯科健診を1回受けることができる妊婦歯科健康診査を実施した。

ウ 実績

項目 年度	受診者数 (受診率)	未処置歯		歯肉出血		
		なし	あり	なし	あり	その他
平成 29 年度	306 人 (26.1%)	186 人 (60.8%)	120 人 (39.2%)	123 人 (40.2%)	183 人 (59.8%)	0 人 (0%)
平成 30 年度	367 人 (31.6%)	223 人 (60.8%)	144 人 (39.2%)	140 人 (38.1%)	227 人 (61.9%)	0 人 (0%)

項目 年度	歯周ポケット			総合判定		
	なし	浅いポケット	深いポケット	異常なし	要指導	要精検
平成 29 年度	110 人 (35.9%)	150 人 (49.0%)	46 人 (15.0%)	28 人 (9.2%)	56 人 (18.3%)	222 人 (72.5%)
平成 30 年度	144 人 (39.2%)	161 人 (43.9%)	62 人 (16.9%)	31 人 (8.4%)	70 人 (19.1%)	266 人 (72.5%)

■昨年度との比較

- ・平成 29 年度妊婦個別歯科健診受診者数 306 人 (26.1%)
- ・平成 30 年度妊婦個別歯科健診受診者数 367 人 (31.6%)

昨年度と比較すると、約 5 ポイントほど受診率の伸びが見られた。

平成 28 年度成人歯科健診受診者のうち、妊婦の受診者数は 168 人で、受診率は 13% であり、これと比較すると大きな伸びを示す結果となっている。

(2) 4 か月児母親歯科健診

継続

ア 目的及び効果

妊娠中から産後にかけて、生活スタイル変化やホルモンバランスの影響に伴い、歯周疾患に罹患する割合が急増するため、産婦の健康管理の一環として 4 か月児健診にあわせた保護者の歯科健診を実施し、歯科疾患の早期発見・早期治療につなげることを目的とする。

イ 4 か月児母親歯科健診受診状況（年48回実施）

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)		総合判定(人)		
				なし	あり	なし	浅い	深い	なし	あり	異常なし	要指導	要治療
H30	1,087	1,040	95.7	652	388	702	314	24	518	522	186	256	598

(3) 乳幼児歯科健康診査

継続

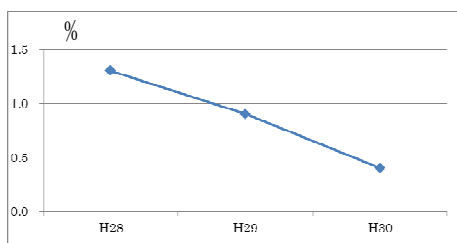
(人)

年度	1歳6か月児					2歳3か月児							3歳児						
	対象児	受診者数	う蝕なし		う蝕あり	対象児	受診者数	う蝕なし	う蝕あり				対象児	受診者数	う蝕なし	う蝕あり			
			01	02					A	B	C1	C2				A	B	C1	C2
H29	1,181	1,175	481	683	11	1,290	1,122	1,089	28	3	0	2	1,405	1,373	1,250	87	32	0	4
H30	1,209	1,204	478	721	5	1,206	1,071	1,038	24	8	1	0	1,208	1,179	1,087	60	28	0	4

【乳幼児歯科健診う蝕罹患率の推移】

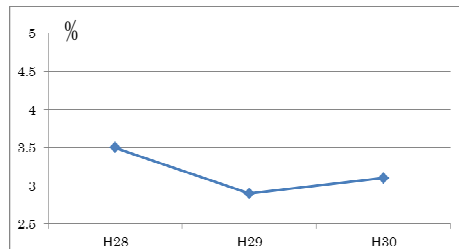
グラフ 1

1歳6か月児歯科健診



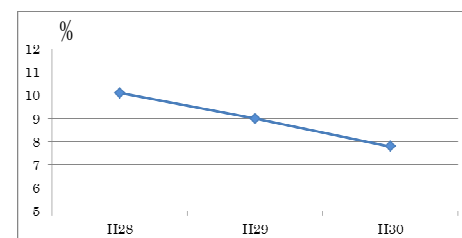
グラフ 2

2歳3か月児歯科健診



グラフ 3

3歳児歯科健診



(4) 成人歯科健診

継続

年度	回数	受診者数(人)	未処置歯(人)			歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)			総合判定(人)		
			なし	あり	なし	浅い	深い	その他	なし	あり	その他	異常なし	要指導	要治療
H30	8	197	170	27	97	75	22	3	112	82	3	26	46	125

(5) 歯周病予防個別健診

継続

年度	受診者数 (人)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)		総合判定(人)		
		なし	あり	なし	浅い	深い	なし	あり	異常なし	要指導	要治療
H30	89	58	31	38	45	6	34	55	4	23	62

(6) いきいき世代個別歯科健診

継続

年度	受診者数 (人)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)				歯肉出血(人)			総合判定(人)		
		なし	あり	なし	浅い	深い	その他	なし	あり	その他	異常なし	要指導	要治療
H30	741	502	239	249	272	218	2	301	438	2	48	123	570

5 健康づくり事業

(1) 健康いきいきポイント事業

継続

ア 健康いきいきポイント事業

健康づくりに関心をもち、継続できるように健康ポイントを実施

	30年度	29年度
チャレンジ項目	自主目標、ウォーキング、健診受診、講座等参加	
まいか交付人数	143人	90人
内) 29,30年度で貯めた方	39人	
地域限定商品券交付人数	125人	48人
内) 29,30年度で貯めた方	33人	

- 平成 27、28 年度は単年度で 1,000 点以上貯めた方に「地域健康応援カードまいか」や「地域限定商品券」をポイントの記念品として贈呈したが、1,000 点を単年で貯めることは困難（健診やがん検診は年齢に満たないと受けることができない。講座は昼間が多い等）との意見がな場合もあり、参加しやすくするため健康いきいきポイントを平成 29 年度から 2 年度継続して貯めることができるようにした。

- ・平成30年度のまいか交付者数143人のうち、初回交付者は63人。

イ 子ども版健康いきいきポイント事業（対象：小学生）

夏休みを利用して、健康づくりの個人目標を設定し、達成できたらポイントを付与、また家族で取り組むことでさらにポイントを付与した。

チャレンジ項目の実施により獲得したポイントは記念品に交換した。

チャレンジ項目	まいか交付者	
	30年度	29年度
健康目標チャレンジ (早寝・早起き、朝ごはん、歯みがき、運動) おうちの人と一緒にチャレンジ	401人	48人

ウ 小牧市スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」

楽しく、継続的にウォーキングに取り組んでもらうことを目的とし、6つのチャレンジを実施した。

年度	チャレンジ名	参加者数	達成者数
30	バーチャルウォーキングチャレンジ外 7チャレンジ	13,210	8,502
29	バーチャルウォーキングチャレンジ外 8チャレンジ	7,829	4,457

alko各種チャレンジで獲得したポイントの合計に応じて、地域限定商品券と交換した。

区分	30年度	29年度
2,000ポイント交換者	666人	335人
1,000ポイント交換者	297人	268人

(2)第2次健康日本21こまき計画重点施策「糖尿病重症化予防」 新規

ア 目的

市民が積極的に健康づくりに取り組み、社会全体がそれを支援する元気

でいきいきとした長寿社会を目指して、糖尿病重症化予防の取り組みとして広く市民に糖尿病について周知を図り、早い段階からの予防に努める。

イ 事業概要

11月の世界糖尿病デーにちなんで、糖尿病についての市民講座講演会を実施しました。

日時：平成30年11月18日（日）午後2：00～開演

場所：あさひホール

演 者	内 容
三輪内科院長 三輪雅一氏	糖尿病予備軍の取扱説明書 －健康診断結果の正しい読み方－
糖尿病・甲状腺上西内科院長 上西栄太氏	医師が進める食事とは？ －毎日の積み重ねがあなたを作る－

ウ 参加者数 106名

(3) 青年期出前講座「女性ホルモンとカラダのトリセツ講座」 新規

ア 目的

更年期を今後迎える世代を対象に、これから起こるからだの仕組みを理解し、自分の健康に関心を持っていただき、心身ともに充実した生活が送れるようにする。

イ 事業概要

更年期トータルケアアドバイザーによる「更年期の体の変化」の講義と自律神経を整える体操の実技指導を実施した。

回数	人数
4団体	53人

(4) 小牧市自殺対策計画策定事業（平成30年度策定） 新規

ア 目的

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざし、「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクの低下を図る。

イ 基本理念について

「こころ」と「いのち」を大切に、気づき、つながり
みんなで支えあうまち こまき

ウ 基本目標

- 1 市民一人ひとりへの周知啓発と地域での見守り体制の構築
- 2 適切な相談と支援につなげるネットワークの構築
- 3 自殺未遂者の再企図防止と遺族の支援